

第21回 豊丘村リニア対策委員会

令和2年7月15日(水)

午後7時00分～ 保健センター 2F

参加者 県-3名 JR-11名(内JV 5名)

中電-4名(内JV 0名) 村-6名

委員-32名 傍聴-12名(内 報道-4名 村外-0名)

19:00～20:30 →委員 ✓長野県 ⇒JR東海 ⇒中部電力 ▶豊丘村

1. 開会 福澤 総務課長

2. 村長あいさつ 下平村長

皆さんこんばんは。

日中のお仕事でお疲れのところ、第21回のリニア対策委員会にお集まりいただきまして、大変にありがとうございます。

ご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症の影響で、世界中が騒ぎになっているところ、このところの長雨による災害で、特に本日お集まりいただいています各区の関係の皆様には地域のために大変お骨折りをいただいていることに深く感謝申し上げます。おかげさまで、今度の災害は激甚指定いただけるということで、被災した箇所はしっかりと修繕していきたいと思っておりますので、引き続き修繕箇所の選定をお願いします。

さて、リニアにつきましては、静岡県知事の発言から工期の遅れが懸念されています、本日の新聞にもそのことが書かれていましたが、工期が遅れるにしてもなるべく短くなるように進めていってほしいと思っております。私も元気なうちにリニアに乗りたいと思っておりますので、JRの皆様、よろしく申し上げます。

今日の委員会では、JR東海から「戸中・壬生沢工区工事説明会の報告」や、「本山発生土置き場の保安林解除の申請の状況」などについて、説明があります。

また、中部電力からは、「下伊那変電所建設工事」の進捗状況と「送電線工事」について報告いただきます。

事業者の皆様におかれましては、引き続き適切な感染防止対策を行っていただきながら、工事の安全、また、住民の皆さんの生活に配慮して事業を推進していただきたいと思っております。

委員の皆様より、忌憚のないご意見を出していただけますようお願いいたします。

本日は、大変にお世話様になります。

3. 会長あいさつ 武田会長

こんばんは。久しぶりの会合になったわけですがけれども、委員の皆様も今回の豪雨で多かれ少なかれ被害にあわれていることと思っております。そんな中、本日の会議に出席いただきまして誠にありがとうございます。

今回は21回という事でございますけれども、ただ今、村長からもお話がありました内容について、それぞれの事業体様から詳しく説明があるようです。委員の皆様ご意見をいただければと思います。よろしく申し上げます。

4. 事業関係者等あいさつ 長野県・JR東海・中電

長野県 リニア整備推進事務所 折井調整課長

皆様こんばんは。委員の皆様におかれましては、平素より長野県の行政全般にわたり深いご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

長野県は、リニア新幹線の用地取得業務を担当しておりまして、その境界立会いや用地交渉、また、リニア工事の調整業務にご協力いただきまして、重ねてお礼申し上げます。

さて、豊丘村内の用地取得の状況でございますが、坂島非常口と戸中非常口の用地は既に取得済となっております。前回の委員会でご指摘いただきました豊丘変電所の用地交渉につきましては、昨年度から引き続き、個別に交渉を進めさせていただいております。

ます。

また、残る壬生沢の坑口についてでございますが、この6月26日に地権者様、隣接の皆様にお集まりいただきまして現地を見まして境界立会いを実施させていただきまして、今後、取得面積や物件調査などの算定を行いまして、それが済み次第、交渉をお願いすることとしております。

いずれにしましても県といたしましては、今後も用地取得業務やリニア工事につきまして、しっかりと進むように調整業務を図ってまいりますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます。何卒、よろしくお願いいたします。

JR 東海 中央新幹線建設部 名古屋建設部 長野工事事務所 平永所長

皆様、こんばんは。JR 東海中央新幹線長野工事事務所の平永でございます。日頃は、大変お世話様になっております。また、本日災害復旧等でお忙しい中、お集まりいただきまして、私共に説明の時間をいただけることに感謝申し上げます。また、加えて、中央新幹線建設事業に対する、地元の皆様のご理解ご協力を改めて感謝申し上げます。この事業は、地元の皆様のご協力なくして、進めることはできないと思っておりますので、引き続きのご支援をお願いいたします。

さて、先ほどから話題になっております、今回の7月豪雨について、全国で多くの方々が被災されている中、飯田市でも1名お亡くなりになられ、ここ豊丘でも大けがをされた方がいらっしゃるということで、心よりお見舞い申し上げます。自然に対するおそれの気持ちを忘れずに、今後、豊丘村で工事を本格的に進めていくうえで、自然のことをよく知る地元の皆様の声にしっかりと耳を傾け、お話を伺いながら工事を進めていきたいと考えております。

さて、本日の対策委員会に今日初めてご参加されるという方もおられるということで、村内の工事の状況について簡単にご説明させていただきます。豊丘村内では、大鹿村から続きます伊那山地トンネルを三つの工区に分けて、そのうち二つの工区を豊丘村で工事を行うという計画になっています。そのうちの 하나가、坂島工区で、こちらにつきましては平成28年9月に清水・大日本土木JVと契約しまして、現在まで道路改良工事やトンネル非常口ヤードの整備を行っております。また、それに続きます工区が本日ご説明いたします、戸中・壬生沢工区でございます。こちらにつきましては、平成30年9月に飛島・市川工務店JVと契約しまして、まずは戸中非常口から掘削する工事につきまして、先月までに地元にご説明してきたところでございます。本日はその内容と今後の進め方につきまして、ご説明させていただきます。

また、トンネルを掘削することに伴い発生する土の置き場の確保について、大変重要な課題と考えております。この二つの工区から発生する土の大部分を戸中・本山の発生土置き場に運び入れる予定でございます。そのうちの本山発生土置き場につきましては、現在、保安林解除の申請手続きを行っておりますが、先月9日に長野県の森林審議会の席において、保安林解除は適切という評価をいただきました。現在も申請の手続きを進めている最中です。なお、本山発生土置き場につきましては、その特状を踏まえまして、地元地権者の皆様、地元豊丘村様とこれまで協議をしましてまいりましたが、当社が将来にわたって管理するというので、このほど合意をいたすことができました。今後、森林の維持管理に関する協定を締結させていただく予定でございます。この後、それについてのご説明をさせていただく予定です。いずれの工事も安全を第一に進めたいと思っております。

今後引き続き、工事の安全・環境の保全に全力で取り組むとともに、こういった機会を通じて地元の皆様のご理解を深める努力をしながら、冒頭、村長の方からお話がありましたけれども、長野県内の工事につきましては、引き続きこれまでどおり着実に進めてまいりたいと思っております。緩むことなくしっかりと進めてまいりますので、何卒、今後も中央新幹線事業に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中部電力パワーグリッド 送変電技術センター リニア関連送変電工事所 岡田 所長

皆さんこんばんは。日頃より、弊社の事業にご理解とご協力賜りまして誠にありがと

うございます。また、リニアの送変電工事につきましても、関係地区の皆様、地権者の皆様のご協力によりまして、今のところ順調に工事を進めさせていただいております。重ねてお礼申し上げます。

先程来、お話が出ておりますけれども、記録的な長雨、豪雨によりまして、土砂崩落や倒木にて当社の設備にも大分損傷をきたしております、その結果、地域の皆様にも停電のご迷惑、ご不便をおかけしましたことについて、この場をお借りしましてお詫び申し上げます。

この雨の影響で、リニア関連の工事で使用させていただいております、工事車両の通行ルートにおきましても、所々で土砂崩落などがございまして、今後、関係業者の皆様と調整をさせていただき、我々も復旧に努めまして、工事の方を進めさせていただきます。

本日は、送電線、変電所の造成工事の進捗状況並びに送電線の工事計画・スケジュールについてご説明させていただきます。

引き続き住民の方々にご理解いただけるよう丁寧な説明をしながら、また、皆様方にご相談しながら工事の安全を第一に考え、関係する事業を進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

5. 協議・報告事項 進行 武田会長

(1) 現在の進捗状況について

①JR 東海

説明 熊崎係長

- ・伊那山地トンネル戸中・壬生沢工区工事説明会の報告について
 - 事業の概要
 - 工事の概要
 - 工事用車両の運行計画及び安全対策
 - 環境保全

- ・工事用車両の通行に伴う確認書の変更について

説明 村井係長

- ・本山発生土置き場の保安林解除申請の状況について

➢ 質疑応答

会長 只今説明がありました。関係される地域の皆様いかがですか？

安田委員（河野区） 先程あいさつの中に静岡県のことが出ていましたが、その影響はあるのか？

平永所長 静岡県の報道等につきまして、豊丘村の皆様にもご心配をおかけしているところがございます。冒頭のあいさつでも触れさせていただきましたが、長野県内の工事につきましては、これまでの計画どおり工事を進めさせていただきたいと考えております。引き続きのご支援ご協力をお願いしたいと考えております。

林委員（福島区） 2点ほどお伺いします。

- ①戸中工区の工事におきまして、昼夜ベルトコンベアを使用するということで、各地区で説明会をもって説明されたと思っておりますが、福島区はまだ聞いておりませんが、虻川の谷を挟んで、夜中にはかなりの騒音が考えられます。もしも、苦情等が出た場合の対応をお聞かせ願いたい。
- ②資料 11 の工事工程表の中に、壬生沢工区の掘削工事が 2022 年の春から着工となっておりますが、一斉に両側に向かって掘り始めるのか？福島用水の関係で、用水を確保しない場合は着工しないという約束をいた

だいておりますので、それまでに福島用水を確保していただけるのかどうか？確認させていただきたい。

熊崎係長 ①24 時間ベルトコンベアの稼働について、今回、戸中非常口から戸中発生土置き場について使用する計画です。昼夜の使用ということで、騒音については十分注意して施工するようにします。非常口の出入り口には防音扉を設置して、内部の音が、漏れないような対策をします。また、ベルトコンベアにつきましては、道路部分についてはベルトコンベア自体を覆うような形で対策をとる予定であります。ただし、トンネルから出た土砂の積み下しの際に発生する音などもございます。色々と対策は検討しておりますが、工事を進める中で気になることがあればご指摘いただきながら、騒音が最小限になるよう対策を講じていきたいと考えています。

②こちらの工事工程につきましては戸中工区の工程として記載させていただいております。本坑は両側を掘る計画でございますが、まずは、東側を掘削するというので、両側同時ではなく品川方面に向かって掘削するというので考えております。西側の掘削については、時期等現在明確ではありませんが、福島区の皆様とお約束させていただいたとおり、代替水源を事前に確保させていただいたうえで、掘削をするということで考えておりますので、その点については、しっかりと対応させていただきます。

林委員（福島区） 最初の質問で対策としてはっきりしていないが、騒音対策をしっかりとしたうえで工事にかかっていたらいい。虻川の谷にはかなりの音が響くような気がします。

JV 山田所長 施工を担当します飛鳥 JV でございます。ベルトコンベアの騒音についてでございますが、実際に大きな音が出るという原因については、土砂が落下するところと考えています。その対策としては、周り全面を囲うという対策を講じます。それから、ベルトコンベアの道路横断部については、筒状の中をベルトコンベアが通る形で対策をとります。いずれにしましても騒音レベルを測定しながら対応していきたいと考えております。

林委員（福島区） ベルトコンベアが筒の中を通過ということで、騒音対策をしていると考えて良いですか？

JV 山田所長 道路横断部分については、ベルトコンベアが筒の中を通ります。完全に音をシャットアウトできるかというところではないので、騒音レベルを測定しながら対応させていただきたいと思っております。

林委員（福島区） 素人で考えますと、筒の中を土砂がころころと移動することによって音は出てしまうような気がします。防音装置を巻くなどの対策を明確にしたいです。

JV 山田所長 今後対策について検討します。

会長 林委員、いかがですか？できれば対策を明確にさせていただきたいと思っておりますが、他にご質問ご意見はございませんか？

〈特になし〉

会長 無いようでしたら、先程説明がありました「戸中工区工事車両運行の確認書の変更」の件と、「本山の森林管理に係る協定」について、委員の皆様、それぞれ必要な手続きを進めるということで、ご異議ございませんか？よろしければ挙手にてお認めいただければと思います。

〈挙手多数〉

会 長 全員賛成ありがとうございました。それでは、JRさんそれぞれの手続きについてお願いいたします。

会 長 続いて中部電力さん説明をお願いします。

②中部電力パワーグリッド

説明 前沢課長

- ・会社の分社化について説明
- ・下伊那変電所工事の進捗状況とスケジュールについて
 - ▶土地造成工事の状況、進捗スケジュール

説明 桃澤副長

- ・送電線工事について
 - ▶送電線工事の進捗状況
 - JR豊丘変電所へ送電する豊丘線で伐採中、大鹿村へ送電する小渋川線で工事中
 - ▶送電線工事の車両通行ルート
 - ▶送電線工事のスケジュール

▶質疑応答

会 長 只今の説明について、ご質問等がありましたらお願いします。

〈特になし〉

(2) その他

会 長 事務局から次回の日程等、説明をお願いします。

◆説明 総務課長

次回 リニア対策委員会開催予定 令和2年9月の下旬を予定します。

◆説明 産建課長

今回の災害におきまして、村道中央線広域農道でございますが、広域農道の福島線との交差点から壬生沢線との交差点この間に場知沢橋という橋がございますが、その橋の福島側で大きな路肩の決壊が発生して、経過観察を行っておりましたが、非常に危険な状態になったため、本日から全面通行止めとさせていただきます。関係の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、復旧作業を急ぎたいと思いますので、ご理解いただきたいと思っております。

会 長 村の幹線道路になると思いますが、いつ頃開通の予定ですか？大変な工事になると思っております。

◆説明 産建課長

本来ですと、9月の災害の査定を受けてということになりますが、今回はその前に施工の段取りをとって8月中くらいには着工できるように進めていきたいと思っております。規模が相当大きなものですので、年内には開通させたいと思っております。

会 長 それでは以上で本日の対策委員会を終了します。ありがとうございました。

6. 閉 会

20:30 終了